

親族承継を進めるファミリー企業が、取引先である同一地域の町工場を引き継ぐ

親族承継
M&A

公開

事業引継ぎ概要

譲受企業：有限会社住友 代表取締役 住友 壽 様（大阪市平野区）
後継者候補 住友 源 様

譲渡企業：山本製袋所株式会社 代表取締役 山本 治光 様（大阪市平野区）

引継時期：令和7年4月（株式譲渡）

支援方法：親族への事業承継計画の作成・M&Aにおける契約書作成 など

事業引継ぎの経緯と支援等

親族承継とM&Aを進めるにあたり両面で当センターを活用

【親族承継】

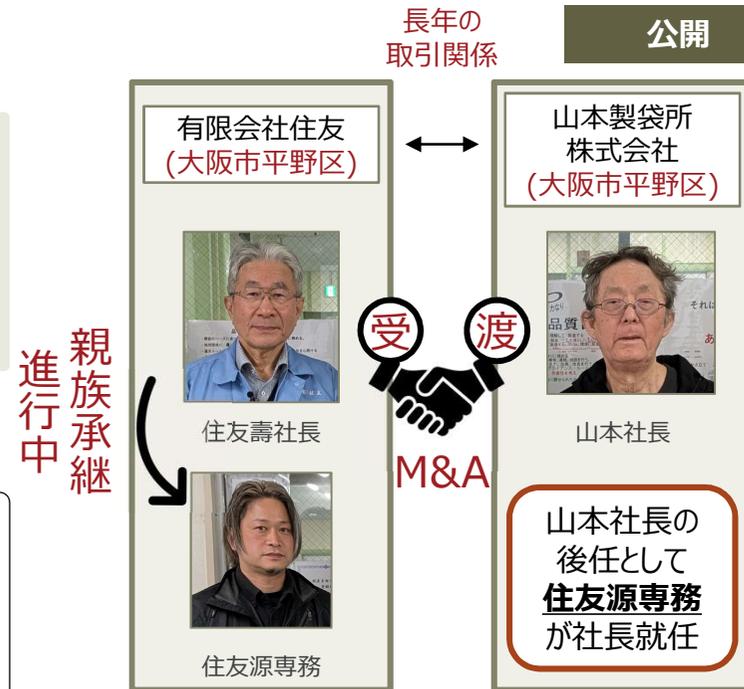
- 有限会社住友は食品包装資材を製造。現社長の壽様は2代目であり、息子である専務の源様へ事業承継を進めている。
- 当センターの外部専門家である中小企業診断士が、無料で、当社の経営分析を行ったうえで、壽様→源様への事業承継計画を作成。

【M&A】

- 山本製袋所株式会社は食品袋を製造。後継者不在のため、30年以上の付き合いの取引先である有限会社住友に事業引継ぎを打診し、マッチングした。
- 当センターの外部専門家である司法書士が、当事者間で決めた条件を整理して契約書を作成。契約書調印時は、当センターも出席し成約式を執り行った。

当事例のポイント

- 取引関係のある会社が後継者不在の会社を引継ぐことにより、商流（サプライチェーン）の維持・発展を実現。
- 連鎖廃業や地域産業の衰退を防ぐために、国は取引先が事業を引継ぐこと（サプライチェーン事業承継）を推奨しております！



成約式にて集合写真。
前列 左から、住友源様、住友壽様、山本治光様、山本裕子様（山本治光様の妻）
後列 左から、鳳山司法書士（外部専門家）、当センター稲田、小澤寛様（両社の会計顧問）